

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

招 集

令和4年9月30日（金）午前10時 議場

出席委員（26名）

（委員長）戸田隆次	（副委員長）伊藤ひろえ		
安達卓是	稲田清	今城雅子	岩崎康朗
大下哲治	岡田啓介	奥岩浩基	門脇一男
国頭靖	田村謙介	塚田佳充	津田幸一
徳田博文	土光均	中田利幸	錦織陽子
西野太一	又野史朗	松田真哉	森田悟史
森谷司	矢田貝香織	吉岡古都	渡辺穰爾

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊木市長

伊澤副市長

浦林教育長

【総務部】永瀬部長

〔財政課〕長谷川次長兼課長 大塚課長補佐兼総括主計員

【総合政策部】八幡部長

【市民生活部】藤岡部長

【福祉保健部】塚田部長

【こども総本部】景山部長

【経済部】若林部長

【都市整備部】隠樹部長

【下水道部】下関部長

【淀江振興本部・淀江支所】中久喜本部長兼支所長

【会計管理者】湯澤管理者兼会計課長

【教育委員会事務局・こども総本部】松田局長兼こども総本部次長兼こども政策課長

【水道局】朝妻局長

出席した事務局職員

松下局長 田村次長 瀬尻局長補佐兼庶務担当局長補佐

傍聴者

報道機関 2社 一般 なし

審査事件及び結果

議案第64号	令和3年度米子市水道事業会計の決算認定について	〔原案認定〕
議案第65号	令和3年度米子市水道事業会計剰余金の処分について	〔原案可決〕
議案第66号	令和3年度米子市工業用水道事業会計の決算認定について	〔原案認定〕
議案第67号	令和3年度米子市下水道事業会計の決算認定について	〔原案認定〕
議案第68号	令和3年度米子市下水道事業会計剰余金の処分について	〔原案可決〕

- 議案第76号 令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第4回） [原案可決]
議案第77号 令和4年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第1回） [原案可決]
議案第78号 令和3年度米子市一般会計等の決算認定について [原案認定]

~~~~~

### 午前10時00分 開会

**○戸田委員長** ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付いたしております日程書のとおり行います。

それでは、日程第1、本委員会に付託されました予算関係議案、議案第76号及び議案第77号の2件を一括して議題といたします。

2件の議案については、各分科会長から特段報告すべき事項はなかったとの報告を受けております。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので、発言を許します。

錦織委員。

**○錦織委員（登壇）** 皆さん、おはようございます。日本共産党米子市議団の錦織陽子です。議案第76号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）について、反対の討論をいたします。

補正第4回では、総額15億6,000万円を追加し、その主なものは令和3年度一般会計決算剰余金から7億7,800万円を減債基金、財政調整基金に積み立て、コロナワクチン関連に約5億円です。7月補正に続き、ほぼ同額のマイナンバーカード取得促進事業は、政令市を除く市と特別区のマイナンバーカード普及率全国トップテン入りを目指すとして、8月末現在46.3%の普及率を70%台に乗せようと躍起になっています。申請者に進呈する2,000円のクオカードは、9月補正では1万5,000人分を追加して3,000万円。国のマイナポイント第二弾の期限が12月末と延期になったので、米子市独自のインセンティブであるクオカードは、令和5年1月から3月までの間に2万人の申請者を見込む計算です。臨時窓口強化、企業への出張申請に1,000万円、ラッピングカーのレンタル料、新聞広告10回分、フリーペーパーなど5回分で、総額4,586万円。マイナンバーカードの利用環境整備事業は、市役所1階にマイナンバーカードを利用した各種証明書交付用のコンビニ設置型のマルチコピー機購入1台分約760万円など、全て国庫支出金で米子市の負担はありません。

しかし、原資は国民の税金です。燃油高騰やコロナ禍など国民の暮らしと営業が大変な中、国はマイナポイント第2弾の再延期を決め、国を挙げて湯水のごとくマイナンバーカードの普及に税金を投入し続けることが許されるでしょうか。そして、何度確認しても2,000円のクオカードは市役所窓口での申請者はもらえず、ラッピングカーや委託事業者がショッピングセンター等で申請する場合のみに進呈すると説明をしてきたのに、先日の予算分科会では、どこの申請でも出す、と変わるなど、国も国なら米子市の方針も右往左往しています。そもそも個人情報侵害や監視社会の危険などデメリットも知らせず、国民をおおるやり方は許せません。

以上の理由で、議案第76号の否決を求めて討論を終わります。

**○戸田委員長** 以上で通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と声あり〕

ほかにないものと認め、討論を終結いたします。

これより、2件の議案を順次採決いたします。

初めに、議案第77号、令和4年度米子市介護保険事業特別会計補正予算（補正第1回）を採決いたします。

本件について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○戸田委員長** 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第76号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第4回）を採決いたします。

本件について、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立…安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、大下委員、岡田委員、奥岩委員、門脇委員、田村委員、塚田委員、津田委員、徳田委員、土光委員、中田委員、西野委員、森田委員、森谷委員、矢田貝委員、吉岡委員、渡辺委員〕

**○戸田委員長** 起立多数であります。

よって、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、日程第2、本委員会に付託されました決算関係議案、議案第64号から第68号まで、及び議案第78号の、以上6件を一括して議題といたします。

これより、6件の議案について分科会長の審査報告を求めます。

初めに、岡田総務政策分科会長。

**○岡田総務政策分科会長**（登壇） 総務政策分科会の決算審査報告をいたします。

議案第78号、令和3年度米子市一般会計等の決算認定についてのうち、当分科会の審査担当とされた部分について、去る16日に分科会を開き審査いたしました結果、大変厳しい財政状況を踏まえながら、米子市の将来と住民生活に責任を持つ行政運営上、特に重点的かつ早急な対応と改善を要すると思われる事項について、以下、指摘された4点を報告いたします。

1、ノーマイカー推進事業については、ノーマイカーカードの交付者が1,255人確認できるが、事業の成果である公共交通の利用促進、交通渋滞の緩和及びCO<sub>2</sub>の排出削減につながることを検証する公共交通利用者数等把握が現在されていない状況となっている。今後事業の効果検証が必要であり、そのシステムを検討されたい。

2、男女共同参画センター運営事業について、本来、男女共同参画センター運営の目的は女性問題の解決、女性の地位向上、女性の社会参画であり、女性が抱える問題全般の情報提供、相談、研究などを実施していると認識している。平成15（2003）年設置から19年経過し、市民の活動拠点としての役割や交流を支援するという場合は、現在旧庁舎にあり、バリアフリー整備や駐車場がないなど苦情がある。また、その登録団体数や利用者も年々減少傾向にあることから、センター設置の目的やその効果を明確にされ、米子市

民の課題解決に向けたセンターの役割への転換を図られたい。

3、女性の専門職資格取得助成事業について、助成対象者の資格取得後の追跡調査についてはアンケートを実施されているが、検証のためにも支給要件にアンケート提出を追加されたい。

4、米子ゴルフ場整備事業及び米子ゴルフ場環境整備事業について、米子ゴルフ場については、米子ゴルフ場整備事業においてクラブハウスの主要整備に係る修繕及び米子ゴルフ場環境整備事業において、松枯れ被害対策及びそれに伴う植樹等が米子市の負担とされており、今後もそれらの負担が見込まれる状況であり、賃貸料収入と相殺されると考えた場合、収入額が多いとは言えない状況である。同施設は国道431号線沿いにあり、弓ヶ浜公園や県立武道館とも隣接しており、非常に利便性・有用性が高い地域と考えられる。また、契約満了の時期が令和8年度末に控えていることから、早期に有効な利活用策を検討されたい。

以上、報告を終わります。

**○戸田委員長** 次に、土光民生教育分科会長。

**○土光民生教育分科会長（登壇）** 民生教育分科会の決算審査報告をいたします。

議案第78号、令和3年度米子市一般会計等の決算認定についてのうち、当分科会の審査担当とされた部分について、去る20日に分科会を開き審査いたしました結果、大変厳しい財政状況を踏まえながら、米子市の将来と住民生活に責任を持つ行政運営上、特に重点的かつ早急な対応と改善を要すると思われる事項について、以下、指摘された4点を報告いたします。

1、日本語教育推進員等設置事業については、日本語の習得が困難な外国人生徒が増加したとの理由で事業費が年々増加傾向にあるが、本市が求める日本語習得レベルが不明確であるため、外部支援員への実績払い賃金が今後も増加し続けるおそれがある。日本語支援については、集合研修の実施や国際交流財団との連携、各生徒に個別配布されたタブレットや翻訳アプリの活用など多様化を図り、今後事業費が上昇し続けまいよう留意されたい。

2、放課後児童対策事業（なかよし学級）については、待機児童数ゼロを目指し取り組まれた結果、受け入れ児童数の増加に伴い待機児童数が減少傾向にあり評価できる一方、増えつつある多様なニーズに応えきれていないと感じる。民間事業者においてはコロナ禍にあっても様々なサービス提供を行っていることから、本市においても土曜日の実施など付加価値のある事業展開となるよう検討されたい。

3、保健事業支援サービス事業については、ジェネリック医薬品利用促進事業、糖尿病性腎症重症化予防事業、重複頻回受診者行動適正化事業の3つを事業者に委託するものではあるが、8月に送付したジェネリック医薬品利用促進通知の効果の評価のタイミングの遅れや、糖尿病性腎症重症化予防事業は、その事業内容が生活習慣の改善指導が主であるにもかかわらず、透析移行人数や高額レセプトの発生状況で効果測定するなど、事業による効果が適正に評価されているとは言い難い。委託事業の評価を本市として改めて検証されたい。

4、家庭廃棄物処理手数料負担軽減事業については、福祉サービスを受ける市民や子育て世帯に対する可燃ごみ専用ごみ袋（40リットル）を年間最大40枚を支給する事業で

あるが、少人数世帯などサイズ交換を求める市民は3割弱である。現在、希望者には米子市役所、淀江支所、クリーンセンターで交換を行っているが、ゴミ袋のサイズが大き過ぎるため、40リットル以外のサイズが市民からのニーズとして求められている。今後、ゴミ袋のサイズ40リットルにこだわることなく、当初より例えば20リットル80枚の選択ができるなど、多様なサイズで市民からのニーズに合った支給方法に変更されたい。

以上、報告を終わります。

**○戸田委員長** 次に、岩崎都市経済分科会長。

**○岩崎都市経済分科会長**（登壇） 都市経済分科会の決算審査報告をいたします。

議案第64号、令和3年度米子市水道事業会計の決算認定について、議案第65号、令和3年度米子市水道事業会計剰余金の処分について、議案第66号、令和3年度米子市工業用水道事業会計の決算認定について、議案第67号、令和3年度米子市下水道事業会計の決算認定について、議案第68号、令和3年度米子市下水道事業会計剰余金の処分について、及び議案第78号、令和3年度米子市一般会計等の決算認定についてのうち、当分科会の審査担当とされた部分について、去る21日に分科会を開き審査いたしました結果、大変厳しい財政状況を踏まえながら、米子市の将来と住民生活に責任を持つ行政運営上、特に重点的かつ早急な対応と改善を要すると思われる事項について、以下、指摘された5点を報告いたします。

1、米子駅前ショッピングセンター整備事業について、米子駅前ショッピングセンターについては、賃貸借料収入が約3,400万円ある一方、小修繕料を約5,000万円支出している。小修繕の財源は、公共施設整備等基金から繰り出しており、同基金の残高は約6億円とのことである。今後、10年間の小修繕料・大規模修繕料を鑑みれば、同基金の枯渇・最終的収支バランスにおいては赤字が想定される。よって、最終的収支バランスを想定した経営概念を策定されたい。また現状、米子駅前ショッピングセンターはにぎわい創出の状況を生み出しているとは言い難い。

2、角盤町商店街機能活性化事業については、経済産業省の間接補助金を活用されたとのことであるが、その事業募集については見えにくく、広く周知されたと言い難い。また、同事業においてネット通販事業も展開するとの計画であったが、その事業計画については実施されておらず早急に実施されたい。

3、米子駅南北自由通路等整備事業について、米子駅南北自由通路工事については、令和4年8月末において工事進捗率は約40%とのことである。自由通路供用開始は令和5年8月を目途としており、施工管理体制の拡充を図られ、補償費等の費用についての確に精査されるとともに、適正な工事の進行管理に努められたい。

4、公園施設長寿命化事業及び公衆トイレ整備事業について、公園施設長寿命化については、計画に基づき、公園や緑地の遊具・施設の老朽化が進んだところから改善・更新に取り組んでいる。また、公衆トイレの整備については、利用者の利便性向上の視点で、観光施設周辺の公園や緑地に設置されたトイレを整備しているのが現状である。しかし、都市公園の運用に当たっては、社会の成熟化、市民の価値観の多様化、都市インフラの一定の整備が進んでいること、また、近年の大規模な災害時の対応などを背景に、多様性が求められるようになっており、その一つが防災機能であると言える。本市には、屋外指定避難所となっている公園は12か所あるが、施設の整備方針には、防災機能、災害時にどの

ように対応するのか、という視点が抜け落ちていると言わざるを得ない。今後は、屋外指定避難所に備蓄倉庫、耐震性貯水槽、かまどベンチ、太陽光発電施設などの設置を検討するなど、観光も防災も包括した整備事業として見直し、事業進捗を図られたい。

5、狭あい道路拡幅整備事業について、狭あい道路については、本市に多数存在しているとのことであるが、狭あい道路においては、緊急時（救急車・消防車）の通行、災害時の避難経路、日常の円滑な交通の妨げとなっている。各地区においては防災安全協議会を設立し、防災・減災対策に尽力されており、避難経路の確保は喫緊の課題である。狭あい道路の改善に向け、政策的予算を確保されるよう努力されたい。

なお、議案第64号、令和3年度米子市水道事業会計の決算認定について、議案第65号、令和3年度米子市水道事業会計剰余金の処分について、議案第66号、令和3年度米子市工業用水道事業会計の決算認定について、議案第67号、令和3年度米子市下水道事業会計の決算認定について、及び議案第68号、令和3年度米子市下水道事業会計剰余金の処分について、以上、5件の議案については、特に指摘事項はありませんでした。

以上、報告を終わります。

**○戸田委員長** 以上で分科会長の報告は終わりました。

それでは、ただいまの分科会長の報告に対する質疑に入ります。

別がないものと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので、発言を許します。

又野委員。

**○又野委員**（登壇） 日本共産党米子市議団の又野史朗です。

私は、議案第67号、令和3年度米子市下水道事業会計の決算認定について、及び議案第78号、令和3年度米子市一般会計等の決算認定について、反対の立場から討論をいたします。

まず、下水道事業会計繰出金、公共下水道事業についてです。平成30年度に約20億円あった一般会計からの繰出金ですが、公営企業会計に移行し計算が変わったとのことで令和元年度から減らされて、令和3年度は決算額で15億1,000万円と、約5億円も少なくなっています。これは、コロナ対策で使用料の値上げが10月に延期されたためこの金額となりましたが、当初は約14億円で、さらに少ない金額となっていました。コロナ禍で市民の皆さんの負担を軽減するため、一般会計からの繰り出しをして使用料の引き上げを延期させることができたわけです。これを一時的なものとして、市民負担を増やさないために、一般会計から繰出金を平成30年度並みに戻すべきだと考えます。

次に、令和3年度米子市一般会計等の決算認定についての反対理由です。1つ目は、マイナンバーカード取得促進事業についてです。マイナンバー制度は、政府が国民一人一人に生涯変わらない番号をつけ、様々な個人情報をひもづけして利用できるようにするもので、それ自体がプライバシー権侵害の危険を持つ重大な問題であると言われていています。さらには、官民連携という名の下に、これらの個人情報を民間でも活用できるようにデジタル化も進められており、これらの個人情報は民間にとって、もうけの種と言われていています。民間のもうけのために個人情報が利用されることにつながる危険性があるマイナンバー制度は、政府が様々な利点を挙げていますが、国民のためとは言えないと考えます。実際に国民の多くは利便性を感じておらず、普及率が上がらないため、政府は健康保険証利用や

マイナポイントで多くの税金をつぎ込んだりしなければ普及が進まない状況です。このような、国民のためではないところから始まったマイナンバー制度については、促進する必要はないと考えます。

2つ目の理由は、米子駅南北自由通路等整備事業です。この事業は、昨年12月議会におきまして約13億円もの増額を行いました。そのときの増額理由となった工法変更と、JR西日本への補償費・減耗費も含まれているからです。事業がなかなか前に進まなかったため、本来、詳細設計で進めるところを予備設計で着工したための工法変更、そして米子市とJR西日本が協定を結ぶときに本来取り扱いを決めておかなければならなかったJR西日本への減耗費の追加については、市民への十分な説明、理解がないまま進められていると考え、認めるわけにはいきません。

3つ目の理由は、保育所等整備事業及び公立保育所整備事業です。これらは米子福祉会立巖保育園と市立春日保育園の統合園の建設費についての補助金と、淀江保育園と宇田川保育園の統合建て替えに伴う新築工事費になりますが、この公立保育所の統廃合民営化については、老朽化した園舎についての建て替えは負担が大きくなるから、統合しなければいつ建て替えになるか分からないという、統廃合以外には選べないような市からの説明により、保護者や地域住民が選択の自由を奪われたような状態で進められたもので、とても認めるわけにはいきません。特に統廃合せず単独で建て替えてほしいという署名がたくさん集まった地域の保育園においても、単独では建て替えないとしか説明せず統廃合を進めるようなやり方には大きな問題があったと考えます。

4つ目の理由は、基本的には格差は解消したとして国が既に2002年に同和事業を終結しているにも関わらず、同和地区関係者を対象にした個人給付事業を継続しているという点です。令和3年度も引き続き固定資産税の減免が行われました。県内他市では行っていない、こうした同和地区に限った個人給付事業は、格差と貧困が広がる中、差別解消に逆行するものだと考えます。差別を固定化する同和個人給付事業は廃止するべきだと考えます。

以上、両決算認定に反対する討論を終わります。議員の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

**○戸田委員長** 以上で、通告による討論は終わりました。

ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と声あり〕

**○戸田委員長** ほかにないものと認め、討論を終結いたします。

これより、6件の議案を順次採決いたします。

初めに、議案第64号、令和3年度米子市水道事業会計の決算認定について、議案第65号、令和3年度米子市水道事業会計剰余金の処分について、議案第66号、令和3年度米子市工業用水道事業会計の決算認定について、及び議案第68号、令和3年度米子市下水道事業会計剰余金の処分について、以上、4件の議案を一括して採決いたします。

4件の議案について、それぞれ原案のとおり可決及び認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○戸田委員長** 御異議なしと認めます。

よって、4件の議案は、それぞれ原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。  
次に、議案第67号、及び議案第78号の2件の議案を順次採決いたします。

初めに、議案第67号、令和3年度米子市下水道事業会計の決算認定について、原案のとおり認定することに賛成の委員の起立を求めます。

[賛成者起立・・・安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、大下委員、岡田委員、奥岩委員、門脇委員、国頭委員、田村委員、塚田委員、津田委員、徳田委員、土光委員、中田委員、西野委員、松田委員、森田委員、森谷委員、矢田貝委員、吉岡委員、渡辺委員]

**○戸田委員長** 起立多数であります。

よって、本件は、原案のとおり認定すべきものと決しました。

次に、議案第78号、令和3年度米子市一般会計等の決算認定について、原案のとおり認定することに賛成の委員の起立を求めます。

[賛成者起立・・・安達委員、伊藤委員、稲田委員、今城委員、岩崎委員、大下委員、岡田委員、奥岩委員、門脇委員、国頭委員、田村委員、塚田委員、津田委員、徳田委員、土光委員、中田委員、西野委員、松田委員、森田委員、森谷委員、矢田貝委員、吉岡委員、渡辺委員]

**○戸田委員長** 起立多数であります。

よって、本件は、原案のとおり認定すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。

**午前10時32分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員長 戸 田 隆 次